

J E A S 科学保安講習会を開催

推奨システム、5社に

日本万引防止システム協会（JEAS・稲本義範会長）は11月18日、「科学保安講習会」を開催した。都内の会場とオンラインによ



認定証の交付式を行った

る参加があった。

科学保安とはJEASが推奨認定する高性能の顔認証システムを活用し、効果的に安全に行う保安警備業務のこと。保安警備員などを対象に2021年8月に初開催し、今回2回目となった。

警備会社からは山根久和副会長（セフト）、青柳秀夫プロシエクトリーダー（日本保安）、林俊一技術スキル向上WG長（JSS）

らが講師やアドバイザーの立場で参加した。

JEASは優良な顔認証システムを開発・販売するメーカーを認定する「推奨顔認証システム制度」を設けている。これまで認定を受けた4社に加え、今回新たにリアルネットワークスのAI顔認証ソフトウェア「セイファー」がシステム・運用に関する認定基準に合格、認定証の交付を受けた。

講習では認定5社の推奨顔認証システムの紹介や、カメラ使用にあたり必要となる個人情報保護に関する知識、顔認証データの分析

・活用などについて学んだ。（瀬戸雅彦）

新丸ビルにAI警備システム納入

アジラ

AIシステムの開発を行うアジラ（東京都千代田区、木村大介代表取締役）は10月7日、AIを搭載した施設向け警備システム「アジラ」を三菱地所（東京都千代田区、吉田淳一社長）の新丸の内ビルディングに納入した。犯罪の未然防止などに活用する。

「アジラ」は既存のカメラシステムにAI機能を搭載でき、転倒・ふらつき・暴力行為などの異常行動を検出し映像を通知する。導入後数日間で監視カメラに映る人の行動を自ら学習し、それらと異なる行動を検知する。

同社は12月に新機能を追加し、その映像を公開する。災害時の避難誘導や園児バスの置き去り対策に有効な「人数カウント機能」、雑踏事故対策に効果的な「混雑検知機能」の2機能だ。